

第3回 意見集約 「にこりこー帯が町民でにぎわうための、あなたの考えを教えてください」

にぎわいにつながるコンセプト(仮)	件数	コンセプトを実現するための方策や考え
直売所ならではの強みを感じられる (それを実現するための運営体制や施設整備がなされている)	15	<ul style="list-style-type: none"> ○新鮮な野菜や果物が安価、品揃え豊富 直売所の「強み」がブレていない。他地域からの販売商品提供、倍の売り場を確保するための建屋の新築 ○4施設の効果的な活用 施設間を屋根続きにして導線確保、施設間の連携を実現する店長や、行政と民間をつなぐリーダーシップ ○明確なコンセプトとマーケティング 誰のための何の施設なのか、ターゲットは。適切なマーケティングを行い、手段はそのあと
気軽に訪れたいくなる・また来たいくなる	11	<ul style="list-style-type: none"> ○開かれた屋外施設の新設 子ども、子育て世代から高齢者、福祉関係まで楽しめる公園・遊具、イベント広場、ガーデン ○気軽に訪れたいスペースや場の提供 各種講座の開催、趣味サークル等の展示スペース、コーヒーやジェラートなどを安価で提供する喫茶スペース ○明るい店の雰囲気 店員の対応が親切で明るい、活気をもたらす大学生インターンシップ
子どもと来たいくなる	6	<ul style="list-style-type: none"> ○体験、イベント 果樹団地での収穫体験、そば打ち体験、種まきから収穫までの体験、露店、宝投げ ○子供と遊べるスペース 芝生スペース、遊具などの存在
付加価値をつける	6	<ul style="list-style-type: none"> ○みのわの野菜の美味しさや価値を伝える 生産者本人による野菜の解説、周辺の畑で自ら収穫してその場で食べる体験 など ○こだわった情報発信 伊那谷の玄関口としての、伊那谷や木曾周辺の文化・観光の紹介拠点
ここにしかないものを提供する	6	<ul style="list-style-type: none"> ○特産品・名物料理 ○山並み風景 ○近隣にないもの(ドッグランなど)
メニューの再考	6	<ul style="list-style-type: none"> ○たべりこのメニューの見直し ウリの「そば」への特化、食べ放題の見直し、新メニューの検討
既存施設の有効活用	4	稼働していない施設(パン焼き、もちつき施設)の有効活用による新たな価値提供、たべりこのテナントへの貸し出し

※他の団体等と協力する 3件、作業効率の向上 3件、新しい価値を生み出す 2件、集客力のある施設整備 3件、生産者が出荷したくなる 2件、利便性を向上する 2件